

特別勘定クォーターレポート

スイス年金

新変額個人年金保険(無配当)

ユニット・プライスの推移



※ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

参考 主な投資対象の投資信託の運用状況(出所: アバディーン投信投資顧問株式会社)

世界バランス・ファンド(適格機関投資家専用)

■ 基準価額の騰落率

| | 1か月 | 3か月 | 6か月 | 1年 | 3年 |
|-------------|--------|-------|--------|--------|--------|
| 世界バランス・ファンド | ▲2.56% | 3.20% | ▲5.18% | ▲7.93% | 38.41% |

■ 資産別構成比

| | ファンド | 複合指数 (参考データ) | ベット |
|-------------|---------|-----------------|--------|
| 株 式 | 50.19% | 50.00% | 0.19% |
| 北米地域 | 30.04% | 30.89% | -0.85% |
| 欧州(除く英国) | 9.13% | 8.76% | 0.37% |
| 英国 | 3.48% | 3.71% | -0.23% |
| 日本 | 5.92% | 4.48% | 1.44% |
| 香港・シンガポール | 0.28% | 0.83% | -0.55% |
| 豪州・ニュージーランド | 1.35% | 1.34% | 0.01% |
| 債 券 | 49.31% | 50.00% | -0.69% |
| 米ドル圏 | 18.96% | 19.11% | -0.15% |
| 欧州(除く英国) | 16.56% | 16.60% | -0.04% |
| 英国 | 3.18% | 3.20% | -0.02% |
| 日本 | 10.61% | 11.09% | -0.48% |
| 現 預 金 | 0.50% | 0.00% | 0.50% |
| 合 計 | 100.00% | 100.00% | 0.00% |

■ 通貨別構成比

| | ファンド | 複合指数 (参考データ) |
|-----------|--------|-----------------|
| 米ドル圏 | 51.15% | 50.12% |
| ユーロ圏 | 22.82% | 23.44% |
| イギリスポンド | 6.82% | 6.91% |
| 豪ドル(含NZD) | 2.25% | 2.05% |
| スイス・フラン | 1.82% | 1.91% |
| 日本円 | 15.14% | 15.57% |
| 合計 | 100.0% | 100.0% |

* 複合指数はMSCI Worldインデックスの50%、シティ世界国債インデックスの50%を加重平均した指数

| | |
|-------------|----------------------------|
| 特別勘定の名称 | グローバルマーケット型 |
| 主な運用対象の投資信託 | 世界バランス・ファンド (適格機関投資家専用) |
| 投資信託の運用会社 | アバディーン投信投資顧問株式会社 |

ユニット・プライスの騰落率

| | 1か月 | 3か月 | 6か月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|--|--------|-------|--------|--------|--------|--------|
| | ▲2.54% | 2.76% | ▲5.52% | ▲8.65% | 32.30% | 47.30% |

特別勘定資産内訳

| | 構成比(%) |
|-------|--------|
| 現 預 金 | 4.3% |
| 投 資 | 95.7% |
| 合 計 | 100.0% |

■ 上位10銘柄

| 株式 | 国名 | 業種 | 投資比率 |
|------------------------------|------|-------|--------|
| CVS HEALTH CORP | アメリカ | 生活必需品 | 2.13% |
| ROCHE HLDG AG | スイス | ヘルスケア | 2.11% |
| BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC | イギリス | 生活必需品 | 1.96% |
| NOVARTIS AG | スイス | ヘルスケア | 1.86% |
| EOG RESOURCES INC | アメリカ | エネルギー | 1.73% |
| ORACLE CORP | アメリカ | 情報技術 | 1.70% |
| PEPSICO INC | アメリカ | 生活必需品 | 1.56% |
| HSBC HLDG PLC | イギリス | 金融 | 1.29% |
| SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD | 韓国 | 情報技術 | 1.25% |
| NESTLE SA | スイス | 生活必需品 | 1.07% |
| 合計 | | | 16.67% |

| 債券 | クーポン | 償還日 | 投資比率 |
|--------|--------|------------|--------|
| アメリカ国債 | 1.375 | 2020/08/31 | 2.81% |
| アメリカ国債 | 0.625 | 2017/07/31 | 2.30% |
| イタリア国債 | 0.700 | 2020/05/01 | 2.19% |
| アメリカ国債 | 0.375 | 2016/03/15 | 1.31% |
| フランス国債 | 0.000 | 2020/05/25 | 1.18% |
| スペイン国債 | 1.600 | 2025/04/30 | 1.14% |
| アメリカ国債 | 2.500 | 2045/02/15 | 0.99% |
| メキシコ国債 | 10.000 | 2024/12/05 | 0.80% |
| アメリカ国債 | 0.375 | 2025/07/15 | 0.67% |
| アメリカ国債 | 1.750 | 2022/09/30 | 0.65% |
| 合計 | | | 14.04% |

※当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。
※その他、3/3ページの「ご注意いただきたい事項」等を必ずご参照ください。

■運用コメント

市場概況

・日本株式

(10月) 中国の追加金融緩和などを好感し、約2ヵ月ぶりに19,000円台を回復するなど大幅に上昇しました。
(11月) 上場した日本郵政グループ3社の初値が大幅高となったことなどで、市場心理が改善して続伸しました。
(12月) 月初には2万円台に上昇したものの、円高・米ドル安傾向が続いたことなどが重石となり年末にかけては下落しました。

・日本債券

(10月) 日銀の追加金融緩和への根強い期待を受けて、10年国債利回りは一時約6ヵ月ぶりの低水準である0.295%まで低下しました。
(11月) 10月の日銀金融政策決定会合において追加金融緩和が見送られたことで、利回りは0.3%を挟んでのもみ合いとなりました。
(12月) 金融緩和の補完措置として国債買入の平均残存期間の長期化などが発表されたことなどを好感し、利回りは0.27%まで低下しました。

・外国株式

(10月) 中国が追加の金融緩和で景気の下支え姿勢を強めたこともあり、世界的に株価は大幅上昇しました。
(11月) パリでの同時テロやトルコ軍によるロシア軍機撃墜で、一時的な動揺はあったものの先進国ではやや続伸しました。
(12月) 原油価格の下落による影響などを背景に、概ね下落しました。

・外国債券

(10月) 追加金融緩和が見込まれるユーロ圏では、ドイツ10年国債で0.5%を下回るなど利回りが低下しました。
(11月) 10月のFOMC議事録から米国で12月以降の漸進的な利上げが示唆されて不透明感が和らぎ、月間での変動は小幅でした。
(12月) ECBによる0.1%の金融緩和では不十分との見方もあり、ユーロ圏では利回りが上昇しました。

・為替

(10月) 米国で10月利上げは見送られましたが、株高等を背景に米ドルは対円、対ユーロ共に上昇しました。
(11月) 米国非農業部門雇用者の増加が20万人台を回復し、利上げ見込みなどを背景に米ドルの全面高、ユーロ安の展開でした。
(12月) 米国ではFRBが9年半ぶりに0.25%の金融引き締めに転じたものの、緩やかな利上げペースとの見通し等から米ドルに対しユーロ高となりました。

運用概況

・今四半期(2015年10月～12月)のファンドのパフォーマンスは、基準価額ベースで+3.20%となりました。月別に見ると10月が+5.80%、11月が+0.10%、12月が-2.56%となります。対ユーロでの円高から為替はややマイナスに寄与しましたが、株式相場が大きく回復したことで基準価額は上昇しました。
・今四半期のパフォーマンスは、ベンチマークを下回りました。その主なマイナス要因となった銘柄選択効果は、株式部門では欧米で市場リターンがプラスの環境においてベンチマークに劣後し、債券部門では事業債等への投資がマイナスとなりました。資産および地域配分効果において、株式では保有銘柄が反発した新興国への配分がプラスに寄与しました。為替は、全般に中立の配分となり、寄与は限定的となりました。
・今四半期の資産配分については、株式のオーバーウェイト、債券のアンダーウェイトを継続し、多少のウェイト付けを調整しました。株式については、引き続き日本をオーバーウェイトとし、加えて欧州を若干オーバーウェイトとする一方、英国や香港・シンガポールをアンダーウェイトとしました。新興国市場にも投資を継続しています。債券については、現預金相当分も含め日本のアンダーウェイトを継続し、概ね海外では引き続き中立的な配分としました。為替に関しては、引き続き米ドルのオーバーウェイト、ユーロを中心としたその他外貨のアンダーウェイトを継続しました。

運用方針

・株式市場は、米国の9年半ぶりの利上げを機に新興国経済に対する不透明感が広がり、世界的に調整局面となっています。一方、債券利回りの上昇は一段落しつつあります。引き続きポジションを大きく傾ける環境にはないものの、株式のオーバーウェイト、債券のアンダーウェイトを継続する方針です。
・株式については、日本のオーバーウェイトを継続します。また、欧州をオーバーウェイトとする一方、景気の先行き不透明感から英国や香港・シンガポールをアンダーウェイトとする方針です。
・債券については、現預金相当分も含め日本のアンダーウェイトを継続し、他の地域については中立を継続する方針です。
・為替に関しては、対ユーロでのドル高を見込み、米ドルのオーバーウェイト、ユーロのアンダーウェイトを継続する方針で、その他通貨については全般に中立とする予定です。

※当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。
※その他、3/3ページの「ご注意いただきたい事項」等を必ずご参照ください。

当資料はアクサ生命が新変額個人年金保険「スイス年金」の特別勘定について運用状況などを報告する資料です

ご注意いただきたい事項

▲ 投資リスクについて

この保険の据置(運用)期間中の運用は特別勘定で行なわれます。特別勘定資産の運用実績に基づいて年金額、死亡給付金額および解約払戻金額等が変動(増減)します。特別勘定資産の運用は、株式および公社債等の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあり、運用実績によってはお受け取りになる年金額や解約払戻金額の合計額が一時払保険料を下回ることがあります。これらのリスクはすべてご契約者に帰属します。

▲ 元本欠損が生じる場合があります

解約の時期、被保険者の契約年齢等の諸条件により、ご契約者等が受け取る金額の合計額が、お払込保険料の合計額を下回る場合もあります。

保険会社の業務または財産の状況の変化により、年金額、死亡給付金額、解約払戻金額等が削減されることがあります。

▲ 諸費用について

契約初期費 一時払保険料に対して**5.0%**を特別勘定繰入前に控除します。

保険関係費 特別勘定の資産総額に対して**(年率0.75%+運用実績に応じた費用(※))**/365日を毎日控除します。
※運用実績に応じた費用:運用実績を毎日判定し、実績が**年率1.5%を超過した場合のみ、超過分1%あたり0.1%(上限1.25%)**を控除します。

年金管理費 年金支払開始日以後、支払年金額の**1%**を年金支払日に控除します。

資産運用関係費 グローバルマーケット型 **年率0.7344%程度**

資産運用関係費は将来変更されることがあります。

その他お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金がかかりますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。

その他ご注意いただきたい事項

- 当資料は、特別勘定の主な投資対象である投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 新変額個人年金保険「スイス年金」は、生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者様が直接投資信託を保有されている訳ではありません。
- 新変額個人年金には複数の特別勘定グループが設定されており、「スイス年金」には「特別勘定グループ(TS型)」が設定されています。保険料繰り入れおよび積立金の移転は「特別勘定グループ(TS型)」に属する特別勘定に限定されます。「特別勘定グループ(TS型)」以外の特別勘定グループに属する特別勘定への保険料の繰り入れおよび積立金の移転はできません。
- 特別勘定および特別勘定の主な運用対象となる投資信託の内容が変更されることがあります。
- 特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほかに、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用等を特別勘定資産から控除していることなどによるものです。
- ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

新変額個人年金保険(無配当)「スイス年金」は現在販売しておりません。

[募集代理店]

株式会社東京スター銀行

TOKYO STAR BANK  **東京スター銀行**

0120-330-655

(平日 9:00~21:00 土日祝 9:00~17:00 年末・年始を除く)

ホームページ / <http://www.tokyostarbank.co.jp>

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-933-399

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>